

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2019年5月1日 ～ 2028年4月30日の間に、脳血流 SPECT 検査を受けられた方

【研究課題名】

脳血流 SPECT 検査における非採血定量法の研究

【研究の目的・背景】

《目的》

脳血流 SPECT 検査において、非採血による脳血流定量推定の有用性を検討すること

《研究に至る背景》

当院で現在行われている脳血流 SPECT の定量検査は、動脈採血を1度行い、動脈血内の放射性薬品の濃度を計測する検査法を用いています。動脈採血は静脈採血と比べ、強い痛みを感じることがある侵襲性の高い採血です。動脈採血を必要としない脳血流 SPECT 定量検査が行えるようになれば、検査を受けられる方の負担を大きく減らすことができます。その実現に向けて、当院で行われた検査の結果と、採血を行わずに動脈血内の放射性薬品濃度を予測する手法との比較を行い、その精度を研究します。

【研究期間】

2024年4月22日 ～ 2028年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 放射線科において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 診療録および画像データ

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：放射線科 ・ 丸野 廣大

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、2028年7月31日までに下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、ご自身が検査を受けられた日から3か月以内に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線科 ・ 今井 昌康

電話 03-3588-1111(代表)